

いつも。そばに。

気象防災アドバイザー



気象防災アドバイザー



- » いつもそばにいる
気象と防災のスペシャリスト
- » 予報の解説から避難の判断までを
一貫して扱える即戦力
- » 地域の課題をよく知るからこそできる解説

気象防災アドバイザーを任用・活用した自治体の声

VOICE

- 避難情報発令のタイミングが難しい・・・
適時的確に発令できるか不安だ。
- 災害の時、いつもそばで助言してくれる専門家がほしい。



- その時々複雑な気象情報を冷静に読み解き、私たちにわかるよう、かみ砕いて解説してくれる。
- 緊迫した場面での判断や行動を助けてくれる力強い存在。

- 全職員に気象や防災について正しい知識を身につけてほしい。
- 勉強会や、実効性の高い訓練を実施するためには、専門知識が必要だ。



- いつもそばで一緒に働いている気象防災アドバイザーだからこそ、私のまちの実態に合った、わかりやすい解説をしてくれた。

- 地域防災に主体的に取り組む住民が増えてほしい。
- 気象防災の普及啓発を推進したいけれど、難しいし人手も足りない。



- 災害リスクを具体的にわかりやすく解説してくれた。
- 参加者は災害を我が事として認識し、防災意識を高めることができた。

気象防災アドバイザーの委嘱状況

委嘱人数 380名

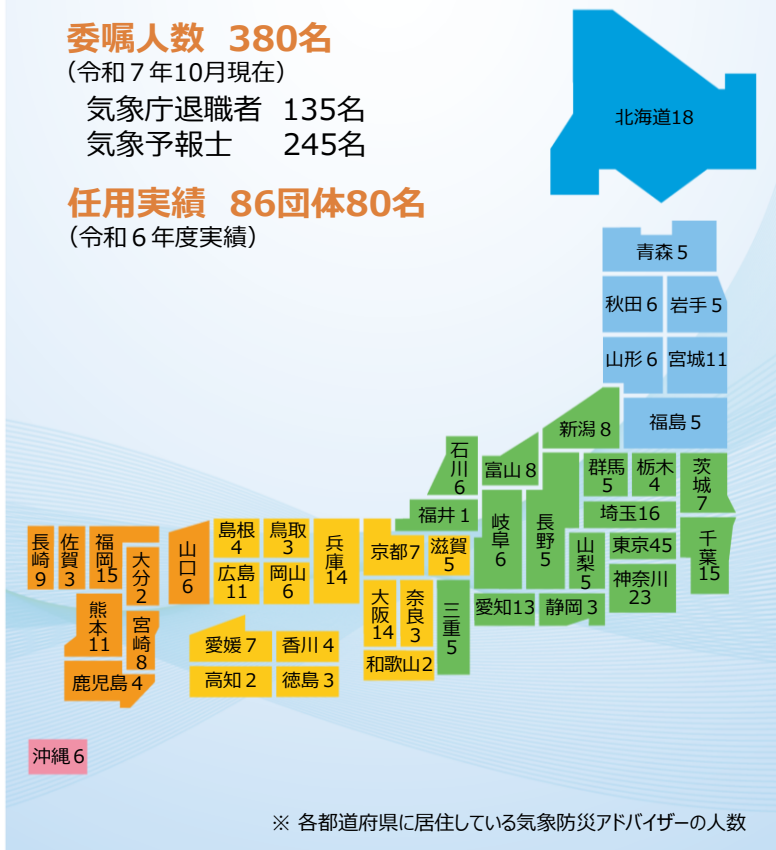
(令和7年10月現在)

気象庁退職者 135名

気象予報士 245名

任用実績 86団体80名

(令和6年度実績)



※ 各都道府県に居住している気象防災アドバイザーの人数

気象防災アドバイザーの任用形態

会計年度任用職員 フルタイム勤務

地域の防災訓練/
避難訓練の支援

災害対策本部会議で
気象の見通しを解説

自治体職員向けに
日々の気象解説

避難情報発令に関し
て首長等に進言

通年登録 必要なときに都度招聘

自治体職員や防災士
向けの研修講師

要請に応じて参集し
気象の見通しを解説

単発契約 単発の依頼に対応

住民向けの気象防災に関する
講演会 / イベントの講師

□ 平常の業務例

□ 災害時の業務例